

## 今こそ知るべき ガンの真相と終焉 小林常雄著 創藝社

### ミトコンドリアの呼吸異常が原因

ガンは悪性腫瘍ではなく「ミトコンドリアの呼吸代謝異常による新生物」というのが著者の主張で、それゆえ、ミトコンドリアを活性化させればガン細胞は正常細胞に戻るとする。ネットで調べると、この説は世界でも少なくない。

ミトコンドリアは細胞小器官の一つで、酸素を使ってブドウ糖をエネルギーに変え、アポトーシス（細胞死）に関与するなど、細胞全体の生命現象にかかわっている。独自のDNAは世代を経て継承されるので、人類の祖先をたどる研究に使われ、ミトコンドリア・イブ説が提唱された。進化の過程で、生命にとって有害な酸素を生存のためのエネルギー転換に使うため、細胞に取り込んだとされる。

一般的にガンは、生体の自律的な制御が利かず、勝手に増殖して周囲の組織に浸潤し、転移する腫瘍とされる。原因としては遺伝、ウイルス、放射線、活性酸素、ストレスなどいろいろあり、発ガン性物質も多い。私は62歳でステージ1の胃ガンになり、3分の2を切除し、正常に回復した。主治医によると、原因は複合的で、加齢によって増えるとのこと。高齢化の日本では2人に1人はガンになるから、原因もそうだろう。

ガン検診ではガン化していないと発見できないので、著者はもっと早く予知・予防ができる

腫瘍マーカー総合診断法（TMCA検査）を開発し、これまで2万6千人に実施し成果を上げ、

専門的な治療法も紹介している。米国ジョーンズ・ホプキンス大学の実験では、ミトコンドリアを

活性化させるとガン細胞が正常細胞に戻ったという。

大事なのはガンにならない食習慣で、食品添加物や電子レンジの使用は最小限にし、牛乳や

小麦製品を避け、肉は魚、鳥まで、白米は玄米か胚芽米に変え、糖分やアルコールを控えるなど。

お勧めは海苔や納豆など腸内細菌を増やし、免疫力を高める食品で、自然由来のものをとり、薬は最小限にする。そして、子育てには自然豊かな田舎がいいという。

多田則明 ルポライター・彩文社社長・宗教新聞編集長・元玄関知識編集長